

広報いちのせき chinoseki I-Style

Stylish & Smiling, Anytime, Anything, By Your Side, With Your Life
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

4¹⁵

April
2012 No.158



2



3



4

- 1_まっすぐ前を見つめ、気持ちを込めて歌う一関修紅高の生徒
- 2_広い本堂に響き渡る美しい歌声
- 3_心を一つに歌い上げる両校の生徒
- 4_柔らかな歌声を受け止める本尊の薬師如来



1

高校生が鎮魂と平和を願い歌声届ける

COVER ★一関二高、一関修紅高による奉納合唱
撮影日 3月26日 場所 平泉町の毛越寺本堂

毛越寺の本堂で3月26日、奉納合唱が行われました。合唱したのは、一関二高と一関修紅高の音楽部員35人。東日本震災で犠牲になった人の鎮魂と平和への願いを込め、美しい歌声を届けました。

同日午後、本堂に入った生徒たちは、合唱に先立ち、本尊の薬師如来の前で合掌。震災犠牲者の冥福を祈りました。この日のために練習を重ねたという生徒たち。「アメージンググレイス」や「ふるさと」など全7曲を神仏に奉納しました。本堂には女声合唱ならではの柔らかな歌声が広がり、ゆつたりと時が流れました。小雪がちらつく中、参拝客は足を止め、高校生の優しい歌声に聞き入っていました。

毛越寺の志羅山浩順総務部長は「世界遺産のこの場所で、被災者の鎮魂のために歌ったことを忘れないでほしい」とあいさつ。合唱を通して支援したいという思いがかなった一関修紅高3年佐々木雅美さんは「震災で亡くなった人のために歌った。また歌いたい」と表情は晴れやか。一関二高の村上博恵顧問は「生徒に忘れられない貴重な体験をさせてもらった」と振り返りました。

高校生による奉納合唱は初めての試み。今後の取り組みに、期待が寄せられています。

災害に強いまちづくりを推進

勝部修市長は、第37回市議会定例会で24年度の施政方針を示しました。
24年度当初予算の総額は704億9千4百万円で前年度比16・6%の増額。
当初予算としては、17年度の合併以降最大だった昨年度を上回る積極型予算になりました。
本号では、施政方針と予算の概要をお知らせします。



▼重点施策① 災害に強いまちづくり

岩手・宮城内陸地震、東日本大震災という二つの大きな災害の教訓を生かして、災害に強いまちづくりを進めます。▼防災行政情報システムを整備▼コミュニティFM放送を活用した防災情報の提供▼市所有指定避難所への発電機配備▼飲料水兼用耐震性貯水槽や災害用マンホールトイレの整備「など」「備え」を強化します。

▼重点施策② 高齢化社会に対応した地域づくり

人口減少と高齢化が進む中で、行政サービスのあり方を時代に合ったものに変えていくことが求められています。これまで個人の領域だった事柄も地域社会で考えていくべきテーマになってきます。高齢者の利用に配慮した公共交通の運行体制や地域コミュニティのあり方など、多方面から検討します。

◆地域医療の確保

病気や患者の実情に合った地域医療を提供するためには、市医師会など関係機関との連携を図りながら、取り組んでいくことが重要です。さらに産業、文化、都市整

備などハード・ソフトの両面で設計段階からまちづくりの考え方を変えていく必要があります。その検討に着手します。

▼重点施策③ 中東北の拠点都市一関の形成

子育て支援
小学生の医療費無料化や子宮頸がん予防ワクチンなどの全額公費助成を行います。
◆雇用対策(入口から出口まで)
企業、パワーアップ支援事業や中小企業の魅力発信力向上事業を継続します。また、ふるさと就職支援事業を実施して、若者の地元定着に努めるとともに、震災等緊急雇用対応事業を行って、地域で働く人材の育成を支援します。

◆産業振興(地産外商)
当市の物産や観光資源を全

国に売り込むため、「地産外商」の看板を掲げて取り組みます。「一関産」が全国に通用するブランドになるよう、情報発信と販路拡大の両面から施策を展開します。

◆原発事故の影響・風評被害
農林産物の放射性物質の測定と適切な情報発信を行って、信頼回復に努めます。

◆観光振興

栗駒山を囲む宮城県栗原市、秋田県湯沢市、東成瀬村と連携し、中東北の新たな観光商品づくりに取り組みます。3月に「東北観光博」が、4月から「いわてデスティネーションキャンペーン」が行われています。一ノ関駅西口の観光案内所を全面リニューアルするとともに、「平泉・一関・奥州ゾーン」

の玄関口として情報発信に努めます。また、平泉ナンバーの実現に向けた運動も強力に進めます。

◆国際ニアコライダー計画
関係機関と連携しながら、情報収集を進めるとともに、一関市学術研究都市構想(仮称)の策定に着手します。

◆沿岸被災地への後方支援

陸前高田および気仙沼両市は、文字通り「近所」。これを、近いところ同士が助け合う「近助」に置き換え、「住民同士のお互いさま」、「行政同士のお互いさま」の関係によって後方支援活動をしてきました。これに「企業同士のお互いさま」の関係を加えることができると思います。沿岸被災地の一日も早い復興に向け、

支援を継続していきます。

▼重点施策④ 放射線対策

東京電力福島第一原子力発電所の事故で、当市を含む岩手県南地域は放射性物質汚染対処特別措置法に基づく汚染状況重点調査地域の指定を受けました。現在市は、除染実施計画を策定しており、この計画に基づき、確実に除染を進めていくことが重要です。市は放射線対策室を設置して取り組みますが、除染の推進には市民の皆さんの協力が不可欠です。課題解決に向け、地域を挙げて全力を注ぎます。

▼分野別の主な施策

①地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり

◆農業
生産体制の強化、担い手の育成、高付加価値化と販路拡大などを進め、信頼される産地づくりを目指します。

担い手育成は、経営感覚に優れた農業者や効率的な営農組織を育成するとともに、青年層を中心とした新規就農者の確保、新たな雇用の創出、加工・販売など6次産業化に向け、起業に着目した人材育成に努めます。新規学卒者を1次産業に誘導し、地元で担い手を定着させる方策も検討します。また、中山間地域等直接支払制度や農地・水・保全管理支払交付金事業を活用した取り組みを支援します。

水田農業は、安全・安心でおいしい米づくりを促進するとともに、水田の基盤を生かした作物再編を進めます。経営の安定化や戦略作物への作付転換を促し、食料自給率の向上と農業の多面的機能の維持を目指す国の農業者戸別所得補償制度の推進と活用を努めます。

園芸・特産作物は、なす、トマト、小菊、乾しいたけなどを転換作物として葉たばこ

から誘導し、生産振興策を講じます。市場に信頼される安定産地の確立を目指して地産外商、地産地消の拡大を進めます。

クマ、ハクビシン、イノシシなどによる被害対策は、市鳥獣被害防止対策協議会を中心に地域でその対策に取り組みます。

畜産は、経営基盤の確立、優良素牛の導入による能力と品質の向上、公共牧場の効果的な活用促進などにより、経営体質の強い畜産農家の育成に努めます。

農林産物の放射線対策は、食の安全を守り、産地としての信頼を回復するため、県や関係団体と連携しながら汚染された稲わら、牧草、堆肥の一時保管や処理を円滑に進めます。また、農林産物の放射性物質を測定し、安全安心を発信しながら風評被害の防止に努めます。被害を受けた農業者に対する損害賠償が迅速かつ万全に行われ、経営の再建と安定が一日も早く実現できるように、市の実情をふまえた要望活動を展開します。

農業生産基盤の整備は、夏川地区などの整備を促進するとともに、国、県に予算の確保を要望します。

農業用施設の保全是、ため池等整備事業、土地改良施設耐震対策事業などにより、施設の適切な更新や改修を行って機能確保と長寿命化を図ります。

◆林業
国営農地開発事業で整備された農地の利活用を促進するため、農業生産法人などの新規参入を進めます。

市有林や民有林の除・間伐を進め、森林の健全な育成と資源の活用を促進します。二酸化炭素の削減や水源の涵養など、森林が持つ公益的機能の維持増進や適切な森林施策の実行に取り組めます。

◆TPPへの対応
国が対策を示し、十分な説明責任を果たすべきと考えています。国民の理解、特に農業者の合意が得られなければ反対せざるを得ません。慎重かつ適切な対応を行うように訴えていきます。

◆工業

地域の特性や資源を生かした施策を展開するため、工業振興計画を策定します。市内の企業の競争力を強化するため、人材育成の視点と経営強化の視点の両面から支援し、ものづくり産業の集積を図ります。企業ニーズの高

い技能・技術の資格取得を目指す研修や当市会場の品質管理検定などを実施して、地域企業の品質管理能力の向上を図り、質の高いものづくりを支援します。

経営強化は、企業の魅力の情報発信を支援するとともに地域企業の自動車関連産業への参入を促進します。

企業誘致は、工業団地のリース制度や立地企業の設備投資に対する助成措置などにより、積極的に進めます。立地企業の操業時に新規採用者の人材育成を支援するなど、フォローアップも行います。

沿岸地域で被災した企業が再出発のため当市内で操業する場合、事業の早期再開と円滑化を図るための支援を行います。

◆雇用対策

地域企業パワーアップ支援事業のほか、求職者を対象にした情報化研修の実施、離職者の再就職訓練事業やキャリア教育の支援に取り組みます。本庁内の無料職業紹介所、千厩支所内の「ふるさとハローワーク」のほか、関係機関・団体と連携して、求職者への相談体制を充実させ、雇用機会の創出に取り組みます。



4月1日、いわてデスティネーションキャンペーンが開幕。IKB48(いちのせき かあちゃん・ばあちゃん48)のメンバーも新幹線コンコースで観光客らを出迎えた



◆商業

中小企業振興資金の融資枠を確保し、中小企業者を支援します。ど市、互市、夜市などの各種イベントを通じた商業振興を図ります。旧ダイエー一関店は、市民活動の拠点施設として整備します。

◆観光・物産

観光振興施策を戦略的に進めるため、観光振興計画を策定します。▼「いわてデスティネーションキャンペーン」におけるイベントの充実
▼平泉と市内の観光地を周遊するパンフレットなどの作成
▼観光地を結ぶ二次交通の整備
▼一ノ関駅における観光案内の強化―など、観光客の利便性の向上に努めます。

産業まつり、姉妹都市の福島県三町町、友好都市の埼玉県吉川市と和歌山県田辺市などとの交流を通じて、地場産品の宣伝と販路拡大に努めます。

4月29日に開局する一関コミュニティFM。地域に密着した情報と防災情報の提供が期待されています



②みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり

◆健康・医療

健康いちのせき21計画などの周知啓発に努めながら、市民の自主的な健康づくりや健全な食生活のあり方について意識の高揚を図ります。

移転整備する一関保健センターの実施設計に着手します。健康診査は、各種がん検診などを実施します。

国民健康保険は、特定健康診査の促進、各種制度の周知、税収確保を図り、事業の健全な運営に努めます。

後期高齢者医療は、岩手県後期高齢者医療広域連合と連携しながら制度の周知、保険料の収納確保に努め、適切な運営を進めます。

地域医療は、地域医療・介護連携推進事業に取り組み、医療機関相互の連携、機能分担、医療と介護の連携体制づくりを進めます。医師確保を図るために医師修学資金貸付事業を実施します。

医師会などの協力を得て、休日当番医制事業や夜間救急当番医制事業を実施し、初期救急医療の確保に努めます。

予防医療の意識啓発に努めながら医療機関、市民、行政の役割や連携を強化して地域の

医療体制の充実を図ります。病院事業は、安定した経営と新しい地域医療の形を追求しながら適正な運営に努めます。

◆子育て支援

第3子以降の保育料無料化を継続します。▼曾慶保育園、藤沢こども園の移転新築
▼猿沢保育園の耐震補強工事
▼八幡町・あおば統合保育園の実施設計に着手します。

放課後児童対策は、厳美地区の児童クラブ設立を支援するほか、大東、川崎両地域の施設充実を進めるなど保護者の就労支援と放課後の留守家庭児童の健全育成に努めます。家庭児童相談員を増員し、要保護児童対策に努めます。

市民のこころの相談支援を行うため、24年度から臨床心理士を配置して相談体制の充実を図ります。

◆障がい者福祉

きめ細やかな支援体制の充実と地域活動支援センターの整備促進を図り、障がいのある人の地域生活を支援します。就労支援に取り組み、自立と社会参加を促進します。

◆高齢者福祉

健康・生きがいづくりの活動を支援します。旧ダイエー一関店を活用した市街地活性化施設整備事業で高齢者の活

動拠点を整備し、趣味、教養、レクリエーション活動などを充実させます。高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業を実施して疾病予防に努めます。

◆生活保護

適正な保護に努めるとともに、自立を支援する社会参加推進プログラム事業を実施して社会参加や就労体験の場の提供に努めます。

◆一関遊水地事業

狐禅寺地区管理用通路と小堤の早期完了を図ります。磐井川堤防改修の用地買収や家屋移転に協力するほか、JR磐井川鉄橋架け替えの早期協議開始を要望します。磐井川堤防改修工事のために伐採せざるをえない桜並木は、60年前の植樹の思いを引き継ぎ、市民と共にその再生を図ります。

一関遊水地下流部の狭隘地区の治水対策は、砂鉄川合流点から宮城県境までの川崎、花泉、藤沢地域の区間で、小堤工事と一体的に事業が推進されるよう関係機関との調整や事業支援を強く働きかけます。

◆消防防災

地域防災計画を見直し、大規模災害に備え、公共施設を中心とした避難所に非常用発電設備を整備するほ

携の調印を行ったオーストラリア連邦セントラルハイランズ市との各種交流事業を展開します。

◆幹線交通網の整備

国道284号 室根バイパスは、用地買収を促進します。弥栄地区の道路改良を要望します。

国道342号 厳美バイパスと花泉バイパスは、全線の早期完成を促進します。花泉バイパス以南から宮城県境までの整備促進を要望します。

国道343号大原バイパスと主要地方道一関大東線生田・流矢地区 関係機関と連携して整備促進を要望します。陸前高田市と連携し、新笹ノ田トンネルの事業化を要望します。

国道456号 摩子地区の交差点の整備、藤沢バイパスの早期実現、宮城県境のトンネル化を関係機関と要望します。

国道4号 一関大橋以南の四車線化を要望します。国道4号を補完する栗原北上線の県道昇格を関係市町と要望します。

市道 矢ノ目沢金沢線、清水原一関線、中駒場線、松川駅前下線、増沢新沼線などを整備します。要望が多い歩道の設置は順次、整備します。橋梁は長寿命化を図ります。街路は山目駅前山線整備を

か、防災行政情報システムと消防救急無線デジタル化などの整備を進めます。

土砂災害ハザードマップを作成し、警戒避難情報の周知を図ります。

防災拠点となる本庁舎・支所庁舎は、非常用自家発電設備の更新などを計画的に進めます。本庁舎と千厩支所庁舎は耐震補強工事の実施設計に、川崎支所庁舎は改築整備に着手します。

木造住宅耐震改修工事助成事業を実施して耐震化を図ります。緊急経済対策住宅リフォーム助成事業を実施して

「新しい時代を切り拓き豊かな心を育むまちづくり」を推進するため、さまざまな教育施策を展開。岩手国体に向けた取り組みもはじめます



進めるとともに、中心市街地の回遊ルートになる歴史の小道の整備に係る社会実験を進めます。

◆バス交通・駅

利用者予測調査や試験運行の結果を踏まえ、市営バスなどの運行のあり方を具体的に検討します。一ノ関駅東口南駐車場は24年度、新たに拡張整備します。駅前トイレを整備します。

◆コミュニティFM放送

地域に密着した情報と防災情報の提供を行います。中継局を整備して、受信エリアの確保を進めます。

⑤水と緑を守り育み自然と共生するまちづくり

◆地球温暖化対策

住宅用太陽光発電システム、太陽熱利用機器、高効率給湯器の設置を促進します。防犯灯のLED化を進め、新エネルギー・省エネルギーの取り組みを推進します。一ノ関駅前西口北・南駐車場、地主町駐車場と西口自転車駐

◆ごみ

ごみの減量化、資源化を進めます。市民の意識啓発を図るとともに監視カメラを活用して不法投棄を許さないまち

づくりを推進します。

◆公園

盛岡地方裁判所一関支部隣接地を取得し、釣山公園として拡張整備します。

◆簡易水道事業

厳美・萩荘簡易水道事業など18事業を推進するとともに、施設を改修・更新します。

◆水道事業

上巻と前堀浄水場の整備を実施するなど、安全な水の安定供給に努めます。災害時のライフラインを確保するため、水道施設の非常用電源設備の拡充や耐震診断を実施して、施設の計画的な更新を進めます。

◆公共下水道事業

管路整備を推進し、一関、花泉、千厩地域の供用区域を拡大します。個人設置型浄化槽設置整備事業補助金の補助率を引き上げ、水洗化を促進します。

◆景観形成

景観まちづくり活動への支援を行い、自然と共生するまちづくりを推進します。

市政運営の基本

24年度は、市総合計画後期基本計画の実質的なスタートの年であり、計画の着実な推進に努め、中東北の拠点都市

形成に向けたまちづくりにまい進します。当市の財政を取り巻く環境は、厳しさを増していくものと見込まれることから、一層、財政の健全化を図り、持続可能な行財政基盤の確立に努めていかなければなりません。私は、市民の声を市政に反映させるためには、現場での視点が大切であると考えており、移動市長室などを通じて、地域の皆さんとの対話を深めます。

協働推進アクションプランをもとに、市民との協働による着実なまちづくりを進めます。その基盤となる地域コミュニティへの支援、市民

が主体となって進める横断的な組織づくりを支援します。市民主体の地域づくりを積極的に進めるため、市民活動団体が活動しやすい基盤づくりに努めるとともに地域おこし事業などにより支援します。

私たちには、大きな悲しみ、苦しみを乗り越えてきた歴史があります。この地域もカスリン、アイオン台風をはじめ、たび重なる水害に、幾度となく壊滅的なまでの被害を受けた歴史があります。このまちが、今日の成長を築き上げるのができたのは、このまちに暮らす人々、その一人一人に不屈の精神があった

からであり、このまちには、困難から立ち上がる底力があると信じています。

私たちは、ふるさとを、再生させなければなりません。悲しみを背負ってばかりはいられません。

頑張ろう 陸前高田、

頑張ろう 気仙沼、南三陸、

頑張ろう 登米、栗原、

そして、頑張ろう 平泉。

明日に希望を託して、力強い歩みを進めていきましょう。

頑張ろう いちのせき。

議員各位ならびに市民の皆様

さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



平成24年度教育行政方針
鈴木功教育委員長が
第37回市議会定例会で述べる

新しい時代を切り拓き 豊かな心を育むまちづくり

◆人生を豊かにする
生涯学習の推進

家庭教育、学校教育、社会教育の各領域の連携を図り、人づくりを土台として地域づくり

につながるよう、生涯学習を推進します。生涯学習の大きな柱となる読書。ことばを学び、感性を磨き、表現力を高め、人生をより深く生きる力を身

につけていく上で欠くことができない読書の大切さについて、家庭、地域の共通理解を図ります。一関図書館と花泉図書館の整備を進めるとともに、

図書館サービスや図書資料の充実、市立図書館と学校図書館との連携強化を図ります。

●確かな学力育成
児童生徒の学力実態把握に努め、指導主事と学習指導専門員による指導の充実を図るとともに、家庭と連携した学

校の取り組みを支援します。また、24年度から小・中学校ともに完全実施となる新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の充実に努めます。

◆ことばを大切に
学校教育

学校・家庭の連携による読書活動を展開するとともに、読書普及員を増員配置し、学校図書の実用や市立図書館との相互利用など、さらなる読書環境の充実に努めます。

◆キャリア教育

生徒の職業観と勤労観、社会性を育てるために、全中学2年生を対象に社会体験学習を実施します。また、市内中学生を最先端科学施設が集まるつくば市へ派遣します。

◆地域に根差した教育

社会科副読本などにより地域の相互理解を深めるとともに、地域の教育力を活用する教育活動をさらに推進します。また、震災直後から行っている陸前高田市と気仙沼市との学校間交流への支援を継続します。さらに、市内全中学校でAED操作も取り入れた救急救命講習を実施し、非常時に備える取り組みを進めます。

◆適応指導

学校不適応状況にきめ細かく対応するため、教育相談員などによる各種相談・支援事

業や適応支援教室における学習・支援活動を進めます。

◆特別支援教育

特別支援教育コーディネーターや支援員などを配置するとともに、幼児期からの相談体制を充実します。

◆学校給食

食材の放射性物質の測定を行うなど、安全安心な給食の提供を心がけ、地場産食材の利用、食育の充実も図ります。

◆義務教育施設の整備

25年4月の開校を目指し、大東小の建設と川崎地域の統合小の整備、施設の老朽化などに対応した山目小、東山中の校舎改築事業を行います。また、藤沢中屋内運動場の耐震診断や舞川中などの校舎耐震補強工事を実施します。さらに、厳美小の大規模改造、中里小屋内運動場改築、川崎中の外構整備などを行います。

学校給食センターは、25年4月からの稼働を目指し、(仮称)千厩学校給食センターの建設工事を進めます。また、学校給食調理業務は、今後計画的に民間委託を進めます。

◆学校規模の適正化

児童生徒数の減少や施設の老朽化が進む中で、よりよい教育環境の整備を図るため、保護者、地域住民の理解を得

る取り組みを進めます。

◆共に学び触れ合う
社会教育の推進

●社会教育
多様な学習機会の提供や学習活動の促進に努めます。家庭教育は、子どもたちが心身ともに調和のとれた人間に成長できるように、支援に努めます。また、地域づくり活動に資する学習機会の提供に努めます。さらに、ことばを大切に

する取り組みとして公民館でのことばの地元学講座の開催や図書館でのことばをテーマにした企画展などを実施します。

◆公民館

一関公民館の旧ダイエー一関店への移転、狐禅寺公民館の周辺環境整備、永井公民館の移転整備のための実施設計、大原公民館の耐震補強工事などに着手します。全公民館へのAEDの設置など施設環境の充実に努めます。

◆多様で個性ある
文化の創造

●文化芸術の振興
芸術文化協会などの連携を図り、市民の文化芸術活動を促進します。全地域で児童・生徒に芸術鑑賞の機会を提供していきます。郷土芸能団体などに対する支援を通じて、伝承保存に向けた環境づ

くりを促進します。

◆骨寺村荘園遺跡

世界遺産拡張登録に向けて、専門家の助言や地元の人たちのご協力を頂きながら、引き続き、各種確認調査を実施していきます。

◆有形文化財

国の登録有形文化財建造物である旧東北砕石工場は、建物保存のための改修設計を実施します。

◆民俗文化財や埋蔵文化財

市が所有する資料の体系的な管理を行うため、基礎調査に着手するとともに保存活用計画策定を進めます。

◆博物館など

博物館では建部清庵生誕300年に当たり、企画展を開催するとともに、当市出身の彫刻家長沼守敬の企画展や藤沢町との合併記念展を開催します。また、芦東山記念館では、開館5周年記念特別展を開催します。

◆地域に根ざした
生涯スポーツの推進

●生涯スポーツ
関係団体と連携を図り、スポーツ教室やスポーツイベントなどを開催し、市民がスポーツを楽しむ機会を確保するとともに、「ソフトボール

合宿の招致など、競技レベルの向上と底辺の拡大に努めます。子どもたちが協力することの大切さを学ぶ機会として「夢の教室」を開催します。

◆岩手団体に
向けた取り組み

当市は、バスケットボール、フェンシング、バレーボール競技の会場地となることから、県や関係団体と連携を図り、準備を進めるとともに、元全日本バレーボール選手等と地元チームが親善試合などを行うイベントを開催し、機運の醸成に努めます。

◆社会体育施設

指定管理者である一関市体育協会と連携し、施設の適切な維持管理に努めるとともに、花泉第二体育館などの耐震補強工事などを行い、競技環境と利用者の利便性の向上を図ります。また、移転新築する一関水泳プールを本年7月から供用開始するとともに、25年度からの供用を目指し一関運動公園テニスコートの増設工事を進めます。

◆生涯にわたる市民の
学習活動を促進

生涯にわたる市民の学習活動を促進し、「新しい時代を切り拓き豊かな心を育む学びのまちづくり」に尽力してまいる所存ですので、皆さまのご理解、ご支援、ご指導を心からお願い申し上げます。

中東北の拠点都市を形成するため 新規・拡充事業に48億円



中東北拠点都市形成特別推進事業 5つの事業

事業	予算額	内 容
災害に強いまちづくり	31億599万円	<p>これまで進めてきた“災害に強いまちづくり”を平成24年度の施策の柱として強力に推進します。</p> <p>①防災行政情報システム整備(平成25年度完成予定) ②コミュニティFM放送を活用した防災情報の提供、中継局の追加整備 ③市が所有する全ての指定避難所に発電機を配備 ④全ての自主防災組織を対象に、防災用資器材の購入費用を助成 ⑤市内2カ所に飲料水兼用耐震性貯水槽と災害用マンホールトイレを整備 ⑥幼稚園、保育園、小中学校等の耐震化 ⑦防災拠点となる消防署や市庁舎の整備・耐震化、非常用発電機の配備・更新 ⑧全ての中学校に心肺蘇生法学習教材を配置、全ての中学生に心肺蘇生音声誘導機を配布。これにより学校で実技を通じて救急救命の知識を学び、家庭や地域への普及を図る“命をつなぐプロジェクト”を推進 ⑨家庭や近所、職場などで防災について話し合う“となりきんじょ防災会議の日”を制定 ⑩全ての世帯に災害時に必要な情報をまとめた冊子を配布</p>
「世界文化遺産 平泉」の玄関口としての受け皿づくりと誘客	1億92万円	JR一関駅前トイレの整備、東口南駐車場の拡張、一関・平泉バルーンフェスティバルの開催、世界遺産登録やいわてデスティネーションキャンペーンなどを契機とした誘客などを関係機関と連携しながら進めます。
(仮称)一関市学術研究都市構想の推進	1,075万円	学術研究都市としての将来的なまちづくりを見据えて(仮称)一関市学術研究都市構想を策定し講演会などを開催します。
読書環境の整備充実	15億2,450万円	一関図書館と花泉図書館の建設に着工します。新館オープンなどに向けて読書指導員を増員するとともに、学校図書館においても図書充実と読書普及員を増員するなど、子どもの読書環境の充実を図ります。
高齢化社会に対応した地域づくり	6,713万円	<p>人口減少や高齢化が進む中で、今後の行政サービスをどう展開していくべきか、平成24年度から全庁的な体制の下、中長期的な視点での取り組みを始めていきます。</p> <p>①地域医療の充実・確保を図るため、地域医療・介護連携推進事業に新たな内容を加えて実施 ②全ての世帯に医療機関受診ガイドを配布し、かかりつけ医の定着や受診マナーを啓発 ③70歳到達者を対象に肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成 ④公共施設トイレの洋式化、支所窓口のローカウンター化など高齢者にやさしい施設改修 ⑤世代を超えたふれあいの場や、高齢者が経験を生かしながら働ける場の確保などゼロ予算の取り組みを推進</p>

中東北の拠点都市を

中東北の拠点都市を形成していくために23年度に引き続き「中東北拠点都市形成特別推進事業」に取り組みます。これは、中東北の拠点都市としての基礎を築くため、早急に取り組むべき事業について特別に予算を確保して行うもので、24年度の新規・拡充

事業費は48億929万円。このほか23年度から実施している「小学生医療費の無料化」なども継続して推進します。

重点施策10項目

次の10項目を重点施策として予算を編成しました。
①「中東北」の拠点都市一関の形成

- ②雇用対策
- ③企業育成
- ④産業振興
- ⑤教育・人材育成
- ⑥保健・福祉・医療の連携強化
- ⑦地域コミュニティの自立支援
- ⑧環境対策
- ⑨震災からの復旧・復興と教訓を生かしたまちづくり
- ⑩骨寺村荘園遺跡の世界遺産登録に向けた取り組み

これらの施策とあわせ、各関連事業を実施するとともに、地域経済の活性化、雇用の確保創出を図るため、経済対策として生活道路の改良、簡易水道の整備など25年度以降に計画していた事業を前倒しで実施します。各事業の主な内容は、次のとおりです。



10 項目の重点施策の主な事業 (※は中東北拠点都市形成特別推進事業)

事業	予算額 (万円)	内 容
「中東北」の拠点都市一関の形成		
市街地活性化施設整備事業	7 億 7,322	旧ダイエー一関店をコミュニティFMスタジオ、公民館、およこ広場など、複合的機能を備えた市民活動と交流の拠点施設として整備
広域的な幹線道路網の整備 (仮称)一関市学術研究都市構想推進事業(※)	10 億 3,580 1,075	矢ノ目沢金沢線・清水原一関線、松川駅館下線、原沢1号線、増沢新沼線、中駒場線など 一関市学術研究都市構想(仮称)の策定、講演会などの開催
市有財産活用推進事業	5 億 4,965	施設の長寿命化・省エネ化など
歴史文化と自然を生かした潤いと安らぎのある空間の整備	3 億 1,868	釣山公園拡張整備事業、桜の小道道路改良事業、歴史の小道道路改良事業、磐井川かわづくり事業

雇用対策

震災等緊急雇用対応事業【県の基金事業】	7 億 1,992	被災地(災害救助法適用地域)求職者の雇用機会を創出しつつ、公益と人材育成に資する事業を実施
新規高卒者ふるさと就職支援事業補助金	1,600	新規高卒者の地元就職と就業定着を図るため、新規高卒者を採用した事業主が行う研修などの人材育成費用に対し、20万円を上限に助成
地域企業パワーアップ支援事業	177	企業の管理・監督者などを対象に、若い人材の育成方法などを学ぶセミナーを開催
キャリア教育支援事業	509	キャリア支援員・キャリアサポーターによる小学生職場体験事業、中学生職場体験出前講座、高校生ガイダンス、新入社員向けセミナーの開催など
各種就業支援	1,263	若年者就業支援相談(ジョブカフェ一関)、雇用相談員の配置、地域職業相談室の設置(一関市ふるさとハローワーク)就職ガイダンスの開催など

企業育成

地域企業の人材育成に対する支援	963	人材育成事業費補助金、次世代ものづくり人材育成事業、技能・技術などの資格取得
技術・経営強化、連携に対する支援	2,976	地域企業経営強化支援事業費補助金、一関産業集積推進協議会負担金など
立地企業操業支援事業費補助金	400	新規立地企業の操業にあたり、新規採用者に係る人材育成経費や社員研修費などを助成
企業立地の促進	1 億 5,450	企業立地促進奨励事業費補助金、特定区域立地促進補助金など

産業振興

「地産外商」の推進	4,324	販路拡大に係る事業 10 事業、情報発信に係る事業 7 事業
農業経営体の育成・強化	1 億 8,800	戸別所得補償経営安定推進事業、青年新規就農倍増プロジェクト補助金など
農業基盤整備の促進	3 億 786	県営基盤整備事業負担金、国営農地開発事業費負担金、県営ため池等整備事業など
農産物の産地づくり	5,349	野菜花き生産振興事業補助金、しいたけ等特用林産物生産対策事業補助金など
工業振興計画と観光振興計画の策定	230	平成 24 年度から 28 年度までの 5 力年の工業振興計画と観光振興計画を策定
大型観光キャンペーンの推進	328	「いわてデスティネーションキャンペーン」と「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」に向けた各種事業を関係機関との連携により展開
資金融資枠の確保と利子・保証料補給	6 億 4,564	低利な中小企業振興資金貸付金の原資預託(融資枠 52.1 億円)、同資金と岩手県小規模小口資金に係る一定の利子補給と保証料の助成
総合的な産業の振興	75	産業振興会議において、産業間の連携による地域産業の総合的な振興を図るための重要事項を調査・審議

教育・人材育成

図書館の建設と読書環境の充実(※)	15 億 2,450	一関図書館と花泉図書館の建設に着工、読書指導員・読書普及員の増員
学校の整備	11 億 1,242	統合大東小学校建設事業、川崎地域小学校統合関連事業、厳美小学校校舎等大規模改修事業
学校給食センターの建設	6 億 8,490	千厩地域、室根地域、藤沢地域の 12 小中学校へ配食する(仮称)千厩学校給食センター建設
体育施設の移転整備と充実	2 億 9,830	青葉テニスコートの一関運動公園への移転整備、一関水泳プールオープン記念事業、花泉水泳プール改修、大東野球場駐車場整備
「地域の宝」を守り、顕彰する取り組み	2,077	国登録有形文化財「日東北砕石工場」の公開活用に向けた保存改修実施設計、彫刻家長沼守敬の作品展示、医師建部清庵の生誕 300 年企画展
生涯スポーツの推進	851	平成 28 年度の岩手国体開催を見据えた選手強化・指導者育成事業、日本女子ソフトボールリーグ開催補助金などスポーツに親しめる環境づくり事業
特別支援教育等の推進	5,730	特別支援コーディネーター、学校サポーター(小中学校)【増員】、きめ細かな指導支援員(幼稚園)【増員】、適応支援相談員【増員】の配置
中学生最先端科学体験研修事業	167	中学生(60人)を対象に、科学技術に関する国の機関等が集積している筑波研究学園都市で宿泊体験研修を実施

事業	予算額 (万円)	内 容
保健・福祉・医療の連携強化		
乳幼児・小学生の医療費無料化	2 億 3,877	子どもの健康増進を図り、保護者の経済的負担軽減により子育て環境を充実させるため、出生時から小学生までを対象に市独自に所得制限なしで医療費を無料化
保健・子育て支援サービスの拠点整備	5 億 2,421	旧県立磐井病院跡地に、子育て支援機能を有する一関保健センター(移転整備)と八幡町・あおば統合保育園を整備し、保健と子育て支援サービスを一体的に提供する拠点を整備
第3子以降保育料の無料化	1 億 2,956	公立・私立を問わず、所得制限なしで第3子以降の保育園・幼稚園などの保育料を無料化(予算額には市立幼稚園・保育園などの保育料減免額が含まれています)
藤沢こども園整備事業	4 億 8,612	小学校就学前の子どもに一貫した教育と保育を実施し、子育てを支援するため平成 24 年 4 月から設置することも園のうち、藤沢こども園の園舎を新たに建設
高齢化社会に対応した地域づくり(※)	6,713	人口減少や高齢化社会に対応した行政サービスの展開を平成 24 年度から中長期的な取り組みとして推進
放課後児童クラブの整備	5,825	置沢児童クラブの移転整備、門崎・薄衣児童クラブの統合整備、新たに民営で設置される厳美児童クラブの運営費補助
発達支援と障がい者福祉の充実	835	発達に関して支援が必要と思われる乳幼児などへの支援体制強化のため一関保健センターに臨床心理士を配置、障がい者の地域活動支援センター設置(追加)

地域コミュニティの自立支援

いちのせき元気な地域づくり事業	9,550	各地域で特色ある地域づくりのため、地域住民と行政との創意工夫による各種事業を実施(平成 24 年度から各地域に配分する総額を 25%増額)
地域おこし事業など地域づくり活動に対する支援	1 億 3,422	地域おこし事業費補助金、自治会等活動費総合補助金、地域協働体支援事業費補助金、地域づくり活動支援員設置事業、地域活動支援人材確保推進事業など
協働によるまちづくりの推進	3,308	市民活動推進事業、市民協働支援事業、協働でつくるきれいなまち推進事業など
地域に根差した文化財や伝統文化の保存・継承	500	郷土芸能活動費補助金、指定文化財保護事業補助金
まつりや地域イベントなどに対する支援	2,921	各地域の夏まつり開催事業負担金、大東大原水かけ祭り保存会事業費補助金、唐梅館絵巻実行委員会補助金、藤沢野焼祭開催負担金など

環境対策

新エネルギー等導入事業費補助金	1,030	新エネルギーの導入を一層促進するため、これまでの住宅用太陽光発電システムの設置経費に加え、太陽熱利用機器や高効率給湯器などの設置経費を助成対象として拡大
下水道・浄化槽の整備	16 億 1,129	公共下水道整備事業、浄化槽整備事業、浄化槽設置整備事業補助金(補助率を4割から6割にかき上げて普及を促進)
温室効果ガス排出削減事業	200	市有林が持つ温室効果ガスの排出削減量と吸収量をクレジット化し、排出削減が困難な企業などに販売する仕組みを導入するため、第三者機関によるモニタリング調査を実施
JR駅前トイレ整備事業	3,065	JR大船渡線真滝駅と折壁駅の公衆トイレ整備、東北本線清水原駅の公衆トイレの水洗化
資源リサイクル事業	1,146	自治会やPTAなどによる集団回収により、地域ぐるみの資源リサイクル活動を促進
地球温暖化対策など環境に関する意識の醸成	284	地球温暖化に関する啓発、エコ友チャレンジ事業、水生生物調査の実施、自然観察会・スターウォッチングの開催、生ごみ減量機器購入事業補助金
公用車へのハイブリッド車導入	795	公用車の老朽化などに伴う更新にあたり、3台をハイブリッド化
防犯灯のLED化・市営駐車場照明の省エネ化	1,840	震災復興支援の一環として寄贈されたLED 灯具 300 灯の設置、一関駅西口北駐車場など市営駐車場照明の省エネ改修

震災からの復旧・復興と教訓を生かしたまちづくり

災害に強いまちづくり(※)	31 億 599	これまで進めてきた事業の前倒し、新たな課題への対応は原則として単年度で集中して実施するなど、災害に強いまちづくりを強力に推進
東日本大震災からの復旧・復興	12 億 6,939	市民生活の早期安定化に向け、被災者の生活再建を支援するとともに、未復旧の公共施設などを早急に復旧
放射線対策	3 億 4,157	市民の不安解消と汚染被害の拡大防止を図るため、適切な情報公開と低減対策などを実施
沿岸被災地の後方支援	—	後方支援都市として、沿岸被災地の復旧・復興に向けた支援を継続。陸前高田・気仙沼両市への職員派遣、平泉町との合同支援本部、陸前高田市支援室、気仙沼市支援室の継続、仮設住宅入居者の支援 など

骨寺村荘園遺跡の世界遺産登録に向けた取り組み

「世界文化遺産 平泉」の玄関口としての受け皿づくり	1 億 546	一関駅前トイレ整備事業(※)、西口南駐車場改修事業(※)、東口南駐車場拡張整備事業(※)、観光地間二次交通整備事業 など
広域連携による観光振興と誘客	1,895	一関・平泉パルーンフェスティバル事業(※)、大型観光キャンペーンの推進(再掲)、いわてデスティネーションキャンペーン、仙台・宮城デスティネーションキャンペーン関連事業
骨寺村荘園遺跡の追加登録に向けた取り組み	1 億 4,301	骨寺村荘園遺跡世界遺産登録推進事業(拡張登録検討委員会の開催、講演会開催など)、骨寺村荘園地区整備事業(交流館展示棟内展示工事など)、平泉ナンバーを実現させる会負担金、世界遺産活用推進実行委員会負担金(県・平泉町・奥州市との共同事業)

経済対策

地域経済の活性化、雇用の確保・創出を図るため、後年度計画事業の前倒し、市民要望の多い生活道路の整備や修繕、公共施設の修繕や環境整備などを中心に、当初予算としては過去最大となる大規模な経済対策事業を実施【事業費 35 億 6,371 万円】



1



2) 水の位置エネルギーを受け、幅2メートルの水車が回転する／2) 水車が回転すると室内にある大小8つの滑車も連動する／3) 高さ3.5メートルから水が落水／4) 水力発電により点灯する外灯

連載
Steps to revive

復興への道程

福島第一原子力発電所事故を受け、昨今、自然エネルギーが見直されている。火力、風力、水力、太陽光。その中で水力発電を活用する中澤善一さん。大東町大原をリポートする。

試行錯誤を繰り返し完成させた自家発電装置 自然エネルギーの普及に意欲的 大東町大原の中澤さんが水力発電装置を自作

大東町大原の中澤善一さん(74)は、自宅脇の水車で水力発電を行っている。善一さんが住む地域には、近くの山から流れ出る豊かな沢水がある。適度な勾配があり、位置エネルギーを利用するのに適した立地環境だ。

善一さんは2010年、室根町折壁の佐藤忠市さん(74)宅にある水車に出会う。一目見たとたん「作りたい」と思ったそう。そこからの行動力はすごかった。忠市さんの指導を受けながら作業に取り掛かり、約3カ月で水力発電の仕組みを作り上げた。総額8万円。水車作りは大東町沖田の菅原一三さん(61)に依頼。装置の部品の大半は、不要になった電動自転車など。もらい集めた。たくさん人の力を借りて発電装置は完成した。

幅60センチの水路を流れる沢水をパイプを使って巧みに操作。毎分180リットルも水を高さ3.5メートルから落水させて水車を回す。発電には1分間に2500回転以上が必要。回転数を確保するために何度も組み立て直した。装置が完成した今は「もう少し研究して、みんなに教えたい」と普及にも意欲的だ。

現在、発電できる電力は最大で300ワット。外灯や趣味のカラオケ機の電源になっている。将来的には、さらに容量の大きな発電機を導入し、家庭内の電力を賄いたいという。「今よりも大きな装置を作れば近所で共用できるのでは」と期待を膨らませる。「電気が好きな人、やってみたいと思ってる人はたくさんいるはず。そういう人を手助けしたい。自家発電が普及すれば、災害に強い町になる」と意気込む。

Nakazawa Zenichi
農業
中澤善一さん



profile なかざわ・ぜんいち
1937年大東町大原生まれ。25歳から35年間型枠大工として出稼ぎに出た。趣味は新舞踊、カラオケ。息子夫婦、孫の4人暮らし。大東町大原に住、74歳。

新町地区自治会

千厩町の「新町地区自治会」(千田恭平会長、240世帯)は、助成金250万円を受けて手踊りなどに使用する太鼓、浴衣、帯を整備しました。

同自治会の金野正副会長は新たに整備した太鼓を前に、「様々なイベントに積極的に参加していくとともに、後継者の育成にも努め、地域づくりの一助としていきたい」と意欲を見せています。



竹野下自治会

室根町の「竹野下自治会」(鈴木久夫会長、会員119人)は、助成金250万円を受けてアルミ製やぐら、炊き出し鍋セットなどを整備しました。

鈴木会長は「30年以上使用したやぐらは、傷みが激しかったので大変ありがたい。地域の行事や防災などコミュニティ活動にどんどん活用し、活性化につなげていきたい」と語りました。



(財)自治総合センター コミュニティ助成事業

あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。

宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実強化を図るため行われているコミュニティ助成事業。23年度もさまざまな団体がこの助成を活用し、事業を行いました。

一関・平泉地域エジプト・ルクソール友好協会

一関・平泉地域エジプト・ルクソール友好協会(平山健一会長、会員200人)が主催する第14回文化セミナーは、3月21日、ペリーノホテル一関を会場に行われました。

コミュニティ助成事業を受けて行われたセミナーは、エジプトとの友好親善促進が目的。カイロ大学のハイサム・ガリール医師が「エジプトの現状」と題して講演し、約30人が耳を傾けました。



大東ジュニア太鼓

大東ジュニア太鼓(遠藤文子代表、会員13名)は、地域活性化のための活動に必要な太鼓(新規購入・修理)、はんでんなどを整備しました。

整備した太鼓やはんでんを前にした遠藤代表は「会員の子供たちと一緒に、太鼓を通じた地域での活動と青少年健全育成にこれまで以上に取り組んでいきます」と抱負を語りました。



本郷神楽保存会

藤沢町の「本郷神楽保存会」(熊谷功会長、会員9人)は、助成を受けて神楽幕や手平鉦などの神楽道具、翁千早などの神楽衣装、ビデオカメラなどを整備しました。

熊谷会長は色とりどりの衣装を前に「念願の神楽用具をそろえることができ、非常にありがたい。今後も稽古に励み、末永く地域の伝統芸能を継承していきたい」と意欲を見せています。



藤沢野焼祭実行委員会

藤沢町の「藤沢野焼祭実行委員会」(皆川洋一実行委員長)は、野焼祭の実施に必要な集会用テント9張とその収納のための物置を整備しました。

皆川委員長は「縄文村設営に不足していたテントがそろい非常にありがたい。物置も確保でき感謝でいっぱい。日本一の規模の藤沢野焼祭を通じて今後も藤沢の文化を全国に発信していきたい」と語りました。



行山流小沼鹿踊保存会

行山流小沼鹿踊保存会(三浦豊会長、会員15人)は、地域の郷土芸能である鹿踊の保存・伝承活動に必要な太鼓、装束類などを整備しました。

集まった会員らと新しい装束や太鼓を並べた三浦会長。「今後も行山流鹿踊を絶やさないよう、気持ちも新たに郷土芸能の保存伝承に取り組みます」と語り、今後の活動へ意欲を見せました。



東日本大震災関連各種制度のお知らせ

自主防災組織活動助成金

自主防災組織の活動に使う発電機などの資器材の購入に関して助成を行ないます。

◇対象…自主防災組織

◇金額…限度額 15 万円。ただし、自主防災組織を構成する行政区が複数の場合は、15 万円に行政区数を乗じた金額 ※詳しくは、地域ごとに自主防災組織代表者の説明会で説明します。

◎問い合わせ先…消防本部防災課 ☎ ☎ 5913

被災者生活再建支援金制度の申請期限が延長されました

震災により居住する住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対し支援金を支給し、生活の再建を支援する制度です。

住宅の被害程度に応じて支給される基礎支援金と住宅の再建方法に応じて支給される加算支援金の2つが支給されます。

◇申請期限…【基礎支援金】平成 25 年 4 月 10 日【加算支援金】30 年 4 月 10 日

◇対象世帯…市内に居住する世帯で、震災により、▶全壊▶大規模半壊▶半壊しやむを得ず解体▶敷地に被害が生じやむを得ず解体—した世帯

※世帯主が申請してください。

◇支援金の支給額…被害の程度、再建方法によって異なります。詳しくは問い合わせてください。

◎問い合わせ先…本庁児童福祉課総務係または各支所保健福祉課

被災者住宅再建支援事業費補助金

震災により、県内で自宅が全壊（半壊解体、敷地被害解体を含む）し、市内で住宅を建設または購入する世帯に対し、補助金を交付します。

◇対象者…▶県内において居住する住宅が全壊（半壊解体、敷地被害解体含む）し、被災者生活再建支援金の基礎支援金▶市内において自宅を建設または購入して、被災者生活再建支援金の加算支援金—をどちらも受給している人

◇補助金額…【発災時の世帯人数が複数の場合】100 万円【発災時の世帯人数が単数の場合】75 万円

◎問い合わせ先…本庁児童福祉課 ☎ ☎ 8357

災害援護資金の金利、返済期間が変更されました

災害により負傷または住居・家財の損害を受けた人に、生活再建に必要な資金を融資する制度です。

◇融資対象…①世帯主が災害により負傷し、その療養に1 カ月以上要する②家財の3分の1以上の損害③住居が全壊・半壊・流出のいずれかの被害を受けた世帯の世帯主

◇融資内容…【世帯主が負傷】融資限度額 150 万円【家財の3分の1以上の損害】融資限度額 250 万円【住居の半壊】融資限度額 270 万円【住居の全壊・流出】融資限度額 350 万円。融資金利年 1.5%（連帯保証人がいる場合は無利子）、返済期間 13 年（据置期間 6 年を含む）

◇申込期限…30 年 3 月 31 日

◎問い合わせ先…本庁児童福祉課総務係または各支所保健福祉課

震災に伴う介護保険料・サービス利用料の減免

東日本大震災により被害を受けた人の 24 年 9 月分までの介護保険料・介護保険サービス利用料を減免します。

◇対象…震災により第 1 号被保険者(65 歳以上の人) またはその人と同居する主たる生計維持者が▶死亡した▶生活保護法による生活扶助を受けることとなった(利用料を除く)▶障がい者となった▶行方不明の▶自ら居住する住宅(借家を除く) が 10 分の 2 以上の損害を受けた▶(保険料のみ) 23 年の事業収入などの減少額が、22 年中の事業収入額などの 10 分の 3 以上である(失業または事業の廃止などにより当面の間、収入が見込めない場合を含む)▶(利用料のみ) 23 年 3 月～24 年 2 月までの所得金額が、前年中の合算合計所得金額などの 2 分の 1 以下の▶原発事故に伴い、政府の避難指示などの対象となっている▶特定避難勧奨地点に居住している

ため、避難を行っている一場合※他にも所得要件があります

◇減免割合…要件によって異なります。詳しくは、問い合わせください。

◎問い合わせ先…一関地区広域行政組合介護保険課 ☎ ☎ 3223

生活再建住宅支援事業

被災した住宅の早期復興を支援するため、住宅ローンの利子や被災した住宅の補修費、宅地の災害復旧工事に要する経費の一部を支援します。

■利子補給

◇対象者…地震により自ら居住していた住宅のり災証明書交付を受けた人または家族で、自ら居住するための住宅の新築または補修を目的に金融機関などから借り入れた人

◇対象となる利子補給対象融資など…【①新築の場合】民間金融機関から借り入れた当初 5 年間の利子額(補助対象上限額 1,460 万円、利率 2%以内)【②補修の場合】住宅金融支援機構または民間金融機関から借り入れた当初 5 年間の利子額(補助対象上限 640 万円、利率 1%以内)【③既往住宅債務の場合】被災住宅に係る既存ローンを有する人で新たに住宅ローンを借り入れた場合の既存ローン 5 年間分の利子相当額を一括補助

◇申請期間…①および③は 28 年度まで、②は 25 年度まで

■住宅補修工事など

◇対象者…【補修の場合】自ら居住している住宅が半壊、一部損壊のり災証明書の交付を受けた人または家族で被災者生活再建支援法に基づく支援制度の対象とならなかった人【改修の場合】自ら居住している住宅のり災証明書の交付を受けた人または家族

◇補助額など…【補修】地震で被災した部分の 10 万円以上の補修工事費の 2 分の 1 以内で限度額は 30 万円、加算額として対象費用の 10 分の 1 以内、限度額 10 万円(耐震改修助成事業と併せて実施する場合 20 万円) 分を商品券で交付(ただし、住宅リフォーム助成事業で既に交付を受けている額を控除した額)【耐震改修】現在の耐震基準を満たさ

ない住宅を耐震改修する工事費用の 2 分の 1 以内で限度額 60 万円【バリアフリー改修】床の段差解消や手すり設置などのバリアフリー改修の工事費用の 2 分 1 以内で限度額 60 万円【県産材使用改修】県産木材を使用した改修工事費の 2 分 1 以内で限度額 20 万円

■災害復興住宅新築工事

◇対象者…地震により自ら居住していた住宅のり災証明書の交付を受けた人または家族で、住宅を滅失、やむを得ず解体または居住不能となり、市内に自ら居住するための住宅を新築または購入する人

◇補助額など…【バリアフリー対応工事】床の段差解消や手すり設置など一定の基準を満たす場合に床面積の区分ごとに定額補助、75 平方メートル未満の場合 40 万円、75 ～ 120 平方メートル未満の場合 60 万円、120 平方メートル以上の場合 90 万円【県産材使用工事】県産木材の使用量ごとに定額補助、10 立方メートル以上 20 立方メートル未満の場合 20 万円、20 ～ 30 立方メートル未満の場合 30 万円、30 立方メートル以上の場合 40 万円

◎問い合わせ先…本庁建築住宅課 ☎ ☎ 8532 または各支所建設課

■被災宅地復旧工事

◇対象宅地…市内にある個人が所有する居住の用に供する建築物がある宅地で、東日本大震災で被災した宅地

◇補助対象者…対象宅地にある住宅に居住する所有者またはその同居の家族で復旧工事を行う人

※ただし、23 年度中に被災宅地の復旧工事に関する補助金の交付を受けた人は対象となりません。

◇対象工事および経費…▶のり面の保護▶排水施設の設置▶地盤の補強および整地▶擁壁の設置および補強(旧擁壁の除去を含む)▶地盤調査および設計調査費▶その他被災宅地の安全性の回復に必要な被災宅地復旧工事として市長が認めたものに要する経費—のいずれかの復旧工事などで、対象経費の合計額が 20 万円以上であること

◇対象とならない復旧工事…▶アパートなどの不動産事業用の宅地▶空き家となっている宅地の復旧工事▶非住家の再建または補修のための宅地の復旧工

事▶復旧工事とはいえない工事

◇補助率と補助限度額…【補助率】工事費の 1/2【補助限度額】上限 200 万円(対象工事費 400 万円)

◇受け付け…4 月 2 日④から

◎問い合わせ先…本庁都市計画課 ☎ ☎ 8541 または各支所建設課

木造住宅耐震診断

◇募集戸数…85 戸

◇対象住宅…市内の木造住宅で▶昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工されたもので、その後増築されていない▶在来軸組工法または伝統的工法による一戸建て住宅で地上 2 階建て以下—のいずれにも該当するもの

◇所有者負担額…3 千円/戸

◇必要書類…本庁建築住宅課または各支所建設課に備え付けの申込書、建築年月日の確認できる書類(建築確認通知書や固定資産税課税明細書など)

◎申込先・問い合わせ先…本庁建築住宅課建築指導係または各支所建設課

木造住宅耐震改修助成事業

市が実施した耐震診断を受け、その診断結果により行う耐震改修工事に対して、最大 75 万円の補助を受けることができます。また、固定資産税や所得税の控除を受けられます。

◎申込先・問い合わせ先…本庁建築住宅課建築指導係または各支所建設課

緊急経済対策住宅リフォーム助成事業

◇対象住宅…市民が居住する建築後 10 年以上経過した住宅

◇対象工事…市内の施工業者を利用した住宅のリフォーム

◇助成額など…経費の一部をお住まいの地域で利用できる商品券で助成します。 ※詳しくはお問い合わせください。

◇住宅リフォーム事業および生活再建住宅支援事業の説明会…【日時】 4 月 18 日④ 14 時～15 時 30 分【会場】 本庁 2 階大会議室



◎申込先・問い合わせ先…本庁建築住宅課 ☎ ☎ 8532 または各支所建設課

私道災害復旧工事補助金

◇対象私道…①道路幅員が 1.8 メートル以上であるもの②一端が公道または建築基準法に基づく道路位置指定を受けた他の私道に接するもの③当該私道に面して家屋が 2 戸以上存在すること(同一所有者の所有する家屋にあつては 1 戸とみなす)④私道境界が明確であるもの⑤維持管理を行う人が明確であること

◇補助事業者…私道に面し、居住する人のうちから選任された人

◇補助対象工事…舗装工、排水工、防護柵工、法面工などの原形復旧に要する経費で、その合計額が 20 万円以上であること(震災以降に着工し、既に工事が完了している場合も対象です)

◇補助率など…対象経費の 4 分の 1 以内の額で、限度額 50 万円(千円未満の端数は切り捨て)

◇申請受付…4 月 2 日④～

◎問い合わせ先…本庁維持課 ☎ ☎ 8521 または各支所建設課

自家水道施設災害復旧工事補助金

水道が整備されていない区域にお住まいで、災害により井戸枯れや減水、水質悪化など被害を受けた自家水道施設について、復旧経費の一部を補助します。

◇補助対象施設…井戸などの掘削やポンプの設置、給水管の布設など

◇補助額…対象経費の 2 分の 1 以内の額で限度額 50 万円

◎申請先・問い合わせ先…簡易水道課 ☎ ☎ 8572 または各支所水道課

**4月の小児・成人夜間救急
当番医が一部変更になります**

4月19日⑧と24日⑧の西地区の当番医が下記のとおり変更になります。

日	医療機関	電話
19 ⑧	かとうこどもクリニック(山目)	33-2211
24 ⑧	いとう脳神経内科(上坊)	21-8200

**専門の医師による
こころの健康相談(予約制)**

◇日時…① 4月19日⑧② 5月17日⑧
13:30～15:30

◇会場…①一関保健所②県千厩分庁舎
③一関保健所保健課☎② 1415、本庁健康づくり課または各支所保健福祉課

**一関保健所が HIV、肝炎、
クラミジアの抗体検査を実施**

希望者は事前に予約してください。
 ◇日時…4月24日⑧、5月8日⑧、22日⑧
11:00～12:00
 ◇会場…一関保健所
 ◇血液検査の種類…▶HIV▶ウイルス性肝炎▶性器クラミジア抗体検査
 ③一関保健所保健課☎② 1415

5月の乳幼児の健康診査

	内容	対象	日	受付時間	場所
一関・花泉	3～4カ月児健診	24年1月1～13日生まれ	23 ⑧	12:45～13:00	一関保健センター
		24年1月14～31日生まれ	24 ⑧		
	9～10カ月児相談	23年7月1～13日生まれ	23 ⑧	8:45～9:00	
		23年7月14～31日生まれ	24 ⑧		
	1歳6カ月児健診	22年10月1～18日生まれ	17 ⑧	12:45～13:00	
		22年10月19～31日生まれ	18 ⑧		
2歳6カ月児歯科健診	21年11月1～14日生まれ	17 ⑧	8:45～9:00		
	21年11月15～30日生まれ	18 ⑧			
3歳児健診	20年11月1～15日生まれ	10 ⑧	12:45～13:00		
	20年11月16～30日生まれ	11 ⑧			
大東・東山	3～4カ月児健診	24年1月生まれ	23 ⑧	13:00～13:15	東山保健センター
		23年7月生まれ	8 ⑧		
	9～10カ月児相談	23年7月生まれ	8 ⑧	9:00～9:15	大東保健センター
		22年10月生まれ	16 ⑧		
	1歳6カ月児健診	22年10月生まれ	16 ⑧	13:00～13:15	東山保健センター
21年11月生まれ		8 ⑧			
2歳6カ月児歯科健診	21年11月生まれ	8 ⑧	13:00～13:15	大東保健センター	
	20年11月生まれ	15 ⑧			
千厩・室根・川崎・藤沢	3～4カ月児健診	24年1月生まれ	16 ⑧	12:30～12:45	川崎防災センター
		23年7月生まれ	22 ⑧		
	9～10カ月児相談	23年7月生まれ	22 ⑧	9:00～9:15	千厩保健センター
		22年10月生まれ	24 ⑧		
	1歳6カ月児健診	22年10月生まれ	24 ⑧	12:30～12:45	千厩保健センター
21年11月生まれ		22 ⑧			
2歳6カ月児歯科健診	21年11月生まれ	22 ⑧	13:00～13:15	千厩保健センター	
	20年11月生まれ	23 ⑧			

**麻しん風しん混合ワクチン(MR)
予防接種**

4月中旬に対象者へ個別通知します。予防接種予診票兼接種券と母子健康手帳を持参し、契約医療機関で接種してください。接種料金は25年3月31日⑧まで公費で負担します。

◇対象…【第2期】18年4月2日～19年4月1日生まれ【第3期】11年4月2日～12年4月1日生まれ【第4期】6年4月2日～7年4月1日生まれ

③本庁健康づくり課

5月の4・5歳歯科健康診査

18・19年11月生まれの人は契約歯科医療機関で受診してください。

③本庁健康づくり課または各支所保健福祉課

肺がん検診・大腸がん検診

同時受診の混雑解消のため、肺がん・大腸がん検診を行います。検診時間を選べます。受診票・検体を持っていない人など詳しくは問い合わせください。

◇受付日時…5月1日⑧、2日⑧ 9:30～10:30、13:00～14:30

◇場所…一関文化センター

③本庁健康づくり課

両親学級(ばらコース)

◇日時…① 5月2日⑧ 9:30～13:00 ② 5月12日④ 9:30～11:50

◇会場…一関保健センター

◇対象・定員…市内在住の妊婦、夫およびその家族・先着12組

◇内容…①栄養講話、調理実習、保健師講話②もぐ浴実習

◇費用…1人300円(調理実習費)

◇受付期限…4月25日⑧

③本庁健康づくり課

**50人未満の小規模事業所を
対象に健康相談を実施します**

◇日時…① 5月2日⑧② 5月10日⑧、17日⑧、24日⑧ 13:00～15:00

◇場所…①一関商工会議所千厩支所②一関市医師会

◇相談項目…▶健康診断結果(有所見者)に基づく事後指導▶長時間労働者への医師による面接指導▶メンタルヘルス(心とからだ)▶従業員の健康管理

③岩手県一関地域産業保健センター☎③ 5110 FAX③ 9955

ポリオ予防接種

【大東・東山地域】
 ◇受付日時・会場…5月9日⑧、11日⑧ 13:00～13:15・大東保健センター

◇対象…生後3カ月～90カ月未満

【千厩・室根・川崎・藤沢地域】
 ◇受付日時・会場…① 5月9日⑧② 10日⑧ 12:00～12:45・千厩保健センター

◇対象…① 23年1月～10月生まれ② 16年11月8日～22年12月生まれ

◇注意事項…▶三種混合ワクチン接種の初回分(3回接種)終了後に接種対象になります▶1歳以上の人は麻しん風しん混合ワクチン(MR)予防接種を優先してください

③各支所保健福祉課

復興への道程

東日本大震災関連各種制度のお知らせ

国税の特例措置

◇所得税の軽減…災害により被害を受けた場合、確定申告で①所得税法に定める雑損控除の方法②災害減税法に定める税金の軽減免除による方法のどちらから有利な方法を選択し、所得税を軽減することができます。

◇住宅借入金など特別控除の特例…住宅借入金など特別控除の適用を受けていた住宅に居住できなくなった場合でも、控除期間中は引き続き適用を受けることができます。

◇財産形成住宅(年金)の利子などの非課税…震災で被害を受けたことにより、払い出しを受ける人は、その払い出しに係る利子などは課税されません。

◇納税の猶予…税務署長に申請し、許可を得ることで、納税の猶予を受けることができます。

◎問い合わせ先…一関税務署 ☎③ 4205

県税の特例措置

◇自動車取得税などの非課税措置…減失・損壊した自動車に代わる自動車を取得した場合、自動車取得税および25年度分までの自動車税が非課税になります。

◇不動産取得税の軽減措置…減失・損壊した家屋に代わる家屋、減失・損壊した家屋の敷地に代わる土地を取得した場合、不動産取得税の軽減を受けることができます。

◎問い合わせ先…県南広域振興局一関県税センター ☎② 1420

市税の特例措置

◇個人市民税の軽減措置…住宅・家財・自家用車などに損害を受けた人は、雑損控除の適用を受けることにより個人市民税の軽減を受けることができます。

◇固定資産税の軽減措置…減失・損壊した住宅の敷地についても、引き続き住宅用地として固定資産税の軽減措置を受けることができます。また、減失・

損壊した家屋の買い替えなどをされた人も軽減措置を受けることができます。

◇軽自動車税の非課税措置…減失・損壊した自動車・軽自動車に代わる軽自動車を取得した場合、25年度分までの軽自動車税が非課税となります。

◎問い合わせ先…本庁税務課 ☎② 8241 または各支所市民課税務係

り災証明書の発行

震災によって生じた土地・家屋・償却資産などの「り災証明書(※)」を申請により発行します。

※「り災証明」とは、今回の地震により被害を受けたことを証明するもので、各種貸付金、融資、保険などの支払いを受けるために、被害を公的に証明するものです。

◇手数料…無料

◇申請者…土地・家屋・償却資産などの所有者および同世帯の家族、それ以外の場合は委任状(任意様式で可)を添付してください。

◇申請方法…必ず印鑑を持参し、り災証明願により申請(申請場所に用紙を備え付け。持参様式も可)。

◎問い合わせ先…本庁税務課 ☎② 8257

震災による医療費一部負担金の免除期間が延長されます

国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入している人のうち、東日本大震災により医療費一部負担金が免除されている人の免除期間が、2月29日から9月30日まで延長されました。免除証明書の有効期限は「平成24年2月29日」と記載されていますが、9月30日まで引き続き医療機関で使用できます。また、福島第一原子力発電所事故による警戒区域などの全ての人の免除期間が25年2月28日まで延長されます。※入院時の食事療養費などに係る標準負担額と療養費(整骨、はり、灸、マッサージなど)の免除は2月29日で終了しました。

◎問い合わせ先…本庁国保年金課 ☎② 8343 または各支所市民課

厚生年金等担保貸し付け、労災年金担保貸し付けなど

厚生年金、国民年金、労働者災害補償保険の年金の支払いを受けている人に一時的に必要な資金を融資します。融資額は、借入申込者本人が必要とする額を限度とし、次の要件を満たす額の範囲内となります。

◇融資内容…① 10万円～250万円の範囲内(資金使途が「臨時生活資金」の場合は100万円が限度②受給している年金の年額(所得税額に相当する額を除く)以内③1回あたりの定額返済額の15倍以内(融資額の元金相当額をおおむね2年6カ月以内に返済していただくこととなります。)

※詳しくは問い合わせください。
 ◎問い合わせ先…独立行政法人福祉医療機構年金貸付課 ☎ 03(3438)0224

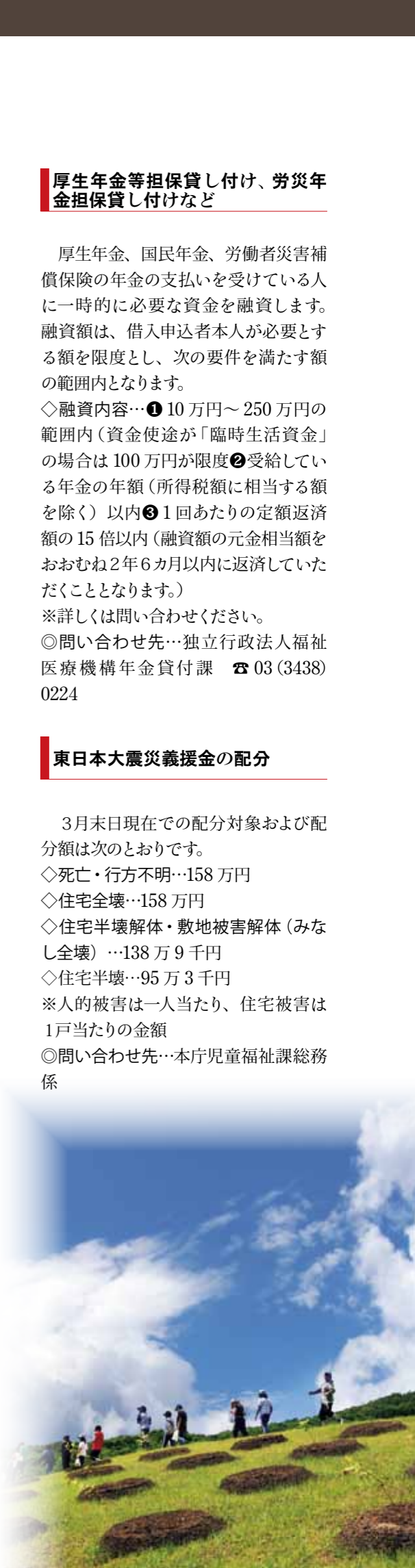
東日本大震災義援金の配分

3月末日現在での配分対象および配分額は次のとおりです。

◇死亡・行方不明…158万円
 ◇住宅全壊…158万円
 ◇住宅半壊解体・敷地被害解体(みなし全壊)…138万9千円
 ◇住宅半壊…95万3千円

※人的被害は一人当たり、住宅被害は1戸当たりの金額

◎問い合わせ先…本庁児童福祉課総務係



募集

家庭で不要になった
こいのぼり

春の風物詩・磐井川の「鯉のぼり吹流し」を行います。家庭で不要になったこいのぼりを提供していただき。

◇期間：4月26日④～5月10日④
◇届け先：4月23日④までに本庁商業観光課または各支所産業経済課へ
●鯉のぼり実行委員会(神崎) ☎090・2023・8822

障がい者スポーツ大会に
参加する選手

盛岡市で6月2日開かれる「第14回岩手県障がい者スポーツ大会」に出場する選手を募集します。県民ボランティア、プログラムの表紙デザイン画も募集しています。

◇出場種目：陸上、フライングディスク、水泳、卓球、サウンドテーブルテニス、アーチェリー、ボウリングなどから1種目(障害区分、年齢などによる要件有り)
◇資格：4月1日現在満13歳以上の人で次のいずれかに該当する人①身体障害者手帳の住所を市内に有する②知的障害者で市内に居住している③精神障害者

◇活動地域：国定公園(早池峰、栗駒)、県立自然公園(室根高原など7カ所)、自然環境保全地域(蓬萊山など12カ所)
◇資格：18歳以上の県民で、意欲的に活動できる人
◇応募：①郵便番号②住所③氏名(姓)④生年月日⑤電話番号⑥職業⑦活動地域(複数選択可)を記入して、はがき、ファクス、電子メールのいずれかで応募
●岩手県環境生活部自然保護課 盛岡市内丸10-1 ☎019-629-5374 / FAX019-629-5379 / 電子メール FA0031@pref.iwate.jp

催し・講座

「書家佐藤関水書展」と
「紫雲石硯展」

◇期間：4月10日④～30日④

県民と県議会との意見交換会
「本音で語ろう県議会」
県議会議員が出席し、県議会に対する県民の意見や提言をうかがいます。事前申し込みは不要です。
◇日時：4月24日④ 18:30～20:30
◇場所：平泉町役場 201 会議室
●岩手県議会事務局議事調査課 ☎019-629-6021

生涯スポーツ教室の受講者募集

受け付け開始は4月15日④です。
●トレーニング教室
◇期日：5月8日～6月26日の毎週全8回◇時間：14:00～16:00
◇場所：一関市総合体育館◇資格・定員：市内に居住または勤務する人、先着20人◇参加料：1,000円
●イブニングゴルフ教室
◇期日：5月8日④～10日④、15日④～17日④ 5月21日④・23日④・25日④ 5月28日④の全10回◇時間：12:30～20:30 12:30～◇場所：一関市総合体育館 2 屋外練習場 3 ゴルフコース◇資格・定員：市内に居住または勤務する人、先着30人◇参加料：1,000円* 2 3 はボール代、プレー代別途必要
●スタートピクス教室
◇期日：5月10日～6月7日の毎週全5回◇時間：14:00～15:30◇場所：藤沢体育館◇資格・定員：市内に居住または勤務する人、先着30人◇参加料：500円
●親子エンジョイ教室
◇期日：5月26日～6月30日の6月16日を除く毎週全5回◇時間：10:00～11:00◇場所：一関武道館◇資格・定員：市内に居住または勤務する親子、先着20組◇参加料：200円
●一関市総合体育館 ☎3111

で市内に居住している
◇募集：身体障害者61人、知的障害者85人、精神障害者23人
◇締め切り：4月20日④
詳しくは、本庁社会福祉課または各支所保健福祉課まで問い合わせてください。
●社会福祉課障がい福祉係 ☎8355 / 各支所保健福祉課

「E東北12」へ
出展する建設技術

仙台市の「夢メッセみやぎ」で10月24、25の両日開かれる建設技術公開「E東北12」への出展技術を募集します。建設分野および建築関連分野の材料、工法、新技術を公開し、その普及を図ることで技術開発を促進し、地域社会の発展に寄与することを目的に開催されます。
◇募集期限：4月27日④
●E東北実行委員会事務局(国交省東北地方整備局内) ☎022-3365-8047 / ホール

(16日、23日は休館日)
◇開館時間：10時～17時(30日は15時まで)
◇場所：東山町・石と賢治のミュージアム
◇入館料：大人300円、小学生200円
◇内容：宮沢賢治を題材に揮毫した書と紫雲石硯各30点展示
●石と賢治のミュージアム ☎3655

ふる里就職ガイダンス

◇日時：4月21日④13時30分～16時(受け付け13時)
◇場所：産業教養文化体育施設「アイドーム」
◇対象：【求職者】学生、一般U・イターナーなど【企業】市内、平泉町、栗原市などに立地する企業など
◇内容：企業との個別面談、就職相談など

女性センター主催の着付け講座
参加者を募集中
◇期間：①5月8日～7月17日(全10回コース)
◇時間：13:30～15:30
◇定員：先着20人
◇内容：一人で装う初めての着付け
◇受講料：無料
●市女性センター ☎2145

一眼レフカメラの基礎を学ぼう
講師に千葉拓也さん(写真写真家)
一関勤労青少年ホームは、「一眼レフカメラ基礎講座」を開催します。
◇日時：4月27日④、5月7日以降の2回、いずれも19:00～21:00
◇場所：一関勤労青少年ホーム
◇定員：先着20人(参加無料)
◇講師：千葉拓也さん(花泉町・千葉写真館)
◇持ち物：普段使っている一眼レフカメラと取扱説明書
◇内容：撮影の基本テクニックから日常のトラブルまでを解説
◇申込期限：4月25日④
◇対象者：原則、36歳以下の市民または市内に居住または勤務する人、求職中の人。定員に満たない場合はどなたでも受講可
●一関勤労青少年ホーム ☎2144

「第6回いわい川チェリロードまつり」は磐井川河川公園で開かれます。夜のライトアップも必見です。堤防拡張工事により今回が最後です。
◇日時：4月22日④10時～16時

花見の名所磐井川河川公園
でチェリロードまつり
◇日時：4月22日④10時～16時

市内の団体が連携し、被災地の子供たちと交流を深めます。
◇日時：4月22日④10時～16時
◇場所：高田小学校
◇内容：ステーションや遊びの場を提供
◇その他：炊き出しの補助など、当日のボランティアを募集
●一関商工会議所青年部 ☎3434

さんりく春の子どもまつり

市内の団体が連携し、被災地の子供たちと交流を深めます。
◇日時：4月22日④10時～16時
◇場所：高田小学校
◇内容：ステーションや遊びの場を提供
◇その他：炊き出しの補助など、当日のボランティアを募集
●一関商工会議所青年部 ☎3434

観光シーズンの開幕告げる
「一関春まつり」

10回目の「一関春まつり」を開催します。一関地方の観光シーズン幕開けイベントです。
◇日時：4月29日④10時～16時
◇場所：大町歩行者天国
◇内容：▼子どもの広場▼花と緑の広場▼名物だんご大集合▼ケキ作り体験▼おもちゃの病院▼テント市▼一関大神輿春の巡行▼関小マーチングバンド▼萩荘小鶏舞▼商店街特別大売出し(9割引の市、100円の市)など
●一関春まつり実行委員会(銀座会事務所) ☎3012

●本庁労働政策課 ☎8461
◇場所：磐井川河川公園山目側
◇内容：物販、飲食物の露天、よさこいソーランほか
●信金本店大通商店街千葉時計店 ☎5404

6月15日④から17日④まで盛岡市民文化ホール「マリオス」に展示される「第24回シルバール作展」の作品を募集します。
◇募集部門：日本画、洋画、彫

県は自然保護活動などを行う
自然保護活動を行う
グリーンボランティア
●芭蕉翁顕彰会 ☎0595-2219

自慢の絵、書、写真など

●芭蕉翁顕彰会 ☎0595-2219

◇募集：5月7日④～11日④
◇申し込み：申込書などの配布は5月1日開始。指定管理者の(岩手県建築住宅センター)まで郵送または持参する。募集団地や戸数など詳しくは問い合わせてください。
●(岩手県)建築住宅センター 盛岡市盛岡駅西通1-7-11いわて県民情報交流センター「アイーナ」2階 ☎0120-208-201

◇内容：①一般俳句②テーマ俳句(テーマ「水」)③連句④英語俳句⑤児童生徒俳句⑥絵手紙
◇締め切り：①②③④7月31日④⑤⑥9月7日④
◇投函料：いずれも無料
詳しくは、(芭蕉翁顕彰会)ホームページ(Http://www.icc.ne.jp/~bashi-bp)へ
●(芭蕉翁顕彰会) ☎0595-2219

県営住宅の入居者

刻、工芸、書、写真
◇出品資格：県内在住の60歳以上のアマチュア
◇受付期限：5月10日④必着
●(岩手県)長寿社会振興財団 ☎019-626-0196

「芭蕉翁詠俳句」など

刻、工芸、書、写真
◇出品資格：県内在住の60歳以上のアマチュア
◇受付期限：5月10日④必着
●(岩手県)長寿社会振興財団 ☎019-626-0196

一関ケーブルネットワーク市民参加番組
いちのせき10万人の知恵袋
毎週(金)午前11:15放送(デジ11ch)
～出演者大募集～
ケーブルテレビ&インターネットのお申し込み・お問い合わせは
岩手日日新聞社グループ icn 株式会社一関ケーブルネットワーク
〒021-0871 一関市八幡町1-24 TEL0191-21-1256 FAX0191-21-2959

Murone stone festival of the 15th spring
第15回春のむろね石まつり 4/28 Sat 4/30 Mon
am9:00~pm5:00 (期間中)
「がんばろう岩手・宮城 復興支援」特典情報!
無料イベント!
①石窯ビザ試食会 4/28(土) am11:30頃
②手打そば試食会 4/29(日) am11:30頃
③室根石臼の「餅つき」4/30(月) am11:30頃
特典①30km圏内運搬費無料(期間中)
特典②1000円以上お買い上げお客様へ「まきばの湯」入浴券プレゼント!
特典③1万円以上お買い上げお客様へ「牧場のレストラン」生ラムAセット食事券1枚進呈!
会場 室根総合開発株式会社 ☎029-1201 岩手県一関市室根町折原字橋本14-2
TEL0191 (64) 3888, FAX0191 (64) 3889, http://www.muronet.co.jp
イベント情報はコチラ! WEBで「室根総合開発」で検索

市民の優れた作品を発表
「一関春の美術展」

市民の優れた芸術文化活動の成果を発表する「第19回一関春の美術展」を開催します。

- ◇日時：5月3日(水)～7日(日)
- ◇場所：一関文化センター 小ホール・展示室
- ◇参加団体：一関市、翠洋会、一関カメラクラブ、一関書道協会、フォトラインF、墨彩会
- ◇一関文化協会 ☎ 2121

新規卒者・求職者対象に
情報化研修

「新規卒者・求職者情報化研修」を開催します。

- ◇期日：5月10日(水)～6月12日(火)、平日9時～16時、20日間
- ◇場所：一関市職業訓練センター(舞川)
- ◇対象・定員：市内に居住または市内の学校を卒業して市無料職業紹介所に求職の申し込みをしている人(市主催パソコン研修の受講者を除く)・20人
- ◇受講料：無料(テキスト代別途3000円必要)
- ◇内容：▼パソコン基礎・OS活用技術▼キャリアガイダンス▼インターネット・ビジネスソフト活用 など
- ◇申し込み：5月7日(日)までに本庁労働政策課、各支所産業経済課、シヨブカフェ一関、ハローワーク一関

◇日時・場所：▼5月11日(金)10時～12時・社協藤沢支部▼16日(土)13時30分～16時・川崎農村環境改善センター▼5月17日(日)9時～12時・本庁▼24日(日)13時～16時・田河津公民館

◇日時・場所：▼5月11日(金)10時～12時・社協藤沢支部▼16日(土)13時30分～16時・川崎農村環境改善センター▼5月17日(日)9時～12時・本庁▼24日(日)13時～16時・田河津公民館

◇日時・場所：▼5月11日(金)10時～12時・社協藤沢支部▼16日(土)13時30分～16時・川崎農村環境改善センター▼5月17日(日)9時～12時・本庁▼24日(日)13時～16時・田河津公民館

ワーク一関、ハローワークプラザ一関にある所定の申込書で本庁労働政策課(市無料職業紹介所)へ持参する(土・日を除く)

相談

困り事や悩み事は
法律相談と行政相談へ

【無料法律相談(予約制)】

- ◇日時・担当弁護士：▼5月10日・千田功平さん▼17日・小原恒之さん▼24日・熊本賢吾さん▼31日・赤津聡さん(いずれも木10時～15時)
- ◇予約：4月27日(金)開始
- ◇場所：本庁2階第4委員会室
- ◇対象・定員：市内在住の人、先着8人

【行政相談】

- ◇日時・場所：▼5月11日(金)10時～12時・社協藤沢支部▼16日(土)13時30分～16時・川崎農村環境改善センター▼5月17日(日)9時～12時・本庁▼24日(日)13時～16時・田河津公民館
- ◇申し込み：5月7日(日)までに本庁労働政策課、各支所産業経済課、シヨブカフェ一関、ハローワーク一関

多重債務の整理などで
困っている人は相談を

【多重債務整理・消費者救済資

無料法律相談
憲法週間(5月1日～7日)にちなんで、岩手弁護士会の弁護士が日常のトラブルについて相談に応じます。

相談

困り事や悩み事は
法律相談と行政相談へ

【無料法律相談(予約制)】

- ◇日時・担当弁護士：▼5月10日・千田功平さん▼17日・小原恒之さん▼24日・熊本賢吾さん▼31日・赤津聡さん(いずれも木10時～15時)
- ◇予約：4月27日(金)開始
- ◇場所：本庁2階第4委員会室
- ◇対象・定員：市内在住の人、先着8人

【行政相談】

- ◇日時・場所：▼5月11日(金)10時～12時・社協藤沢支部▼16日(土)13時30分～16時・川崎農村環境改善センター▼5月17日(日)9時～12時・本庁▼24日(日)13時～16時・田河津公民館
- ◇申し込み：5月7日(日)までに本庁労働政策課、各支所産業経済課、シヨブカフェ一関、ハローワーク一関

多重債務の整理などで
困っている人は相談を

【多重債務整理・消費者救済資

※4月から24年度分の学生納付特例の受け付けが始まっています。23年度分の受け付けは4月未までです。

春の農作業が本格化
農作業中の事故に注意を

春の農作業安全月間は6月15日まで展開されます。例年、この時期はトラクターの転落事故が多発しています。安全プレームの設置や左右ブレーキペダルの連結などを徹底し、作業中の事故をなくしましょう。

◇作業時には次のことに注意してください：▼できるだけ一人での作業を避ける。家族に作業場所と帰宅時刻を告げる▼農機具の点検整備時は、エンジンを停止する▼家族みんながエンジンを停止できるように、スイッチの場所を教える

*市内の農作業事故数()内は死亡事故数(人)▼21年(6)(5)▼22年(3)(3)▼23年(7)(2)

電話お願い手帳を
利用してください

耳や言葉の不自由な人が、外出先で電話連絡をしたい時、用件や連絡先を書き込んで近くの人に協力をお願いする「電話お願い手帳」がNTT東日本から寄贈されました。手帳を希望する人は、本庁総合案内・各支所保健福祉課窓口などで配布していますので利用してください(先着順)

◇業務再開日：5月14日(日)

盛岡地方事務局
一関支局庁舎が業務再開

◇業務再開日：5月14日(日)

お詫びと訂正
4月1日号35ページ掲載
本誌2012年4月1日号35ページ「岩手一関の手」に掲載の「京佛師石川昇明さん『一刀に、一心に、形と心を融合する手業』」のページ中、誤って綴り用穴の位置に仏像写真を配置し、仏像に穴をあけてしまいました。

皆さんに不快な思いをさせてしまったことを心からお詫び申し上げます。訂正写真を掲載いたします。



F M試験電波発射中です

一関コミュニティFMは、試験電波を発射しています。調整のため、電波を止めることがあるので放送エリア内でも聞こえないことや、複数の音が重なって聞こえることがありますので、ご了承ください。本放送は、4月29日(日)正午から開始します。

◇事業者名…一関コミュニティFM株式会社
◇愛称…FMあすも
◇周波数…79.5MHz
◇中継局…川崎石蔵山、花泉、室根

お知らせ

獣害対策で侵入防止柵の設置費用の補助します
農作物の獣害対策として、生産者団体など、農業者が組織する団体が電気柵や金網柵の設置を行う場合に設置費用の2分の1(一人あたりの上限10万円)を補助します。

◇所在地：一関市内城内3-2(一関法務合同庁舎) ☎ 24149 *震災前と同じ場所
◇その他：市役所内に設置していた登記事項証明書などの発行請求窓口は5月11日(金)で終了

「救急医療情報キット」
(「愛のカプセル」)を配布

「愛のカプセル」は、救急時に必要な情報(かかりつけ医療機関や緊急連絡先など)を保管するものです。目印となるステッカーを張ったカプセルを冷蔵庫に入れます。救急隊員はその情報を活用し、適切で迅速な救急活動に役立てます。市は「愛のカプセル」の申し込みを4月16日(日)から受け付け、希望する個人、自治会、自主防災組織などに無償で配布します。

◇対象：▼市内在住で健康に不安のある人▼高齢者▼障がいのある人

国民年金のお知らせ

◇保険料：24年度の国民年金保険料は月額14980円です。一定期間分の保険料をまとめて納付すると保険料が割り引きになります。口座振替にすると保険料の割引制度を利用できます。

◇免除制度：経済的に保険料納付が困難な人などのために免除制度があります。本人、配偶者、世帯主のいずれかで、23年3月31日以降に離職した人は、雇用保険の受給資格者証か離職票を持参すれば失業の特例に該当します。

◇学生のための学生納付特例：本人の所得が一定以下の学生は、申請すれば在学期間中の保険料納付を後払いにできます。申請には、印鑑、学生証のコピーや在学証明書を持参してください。

お問い合わせ

ある人()などのうち希望する人※市社会福祉協議会が実施する「緊急連絡カード」の登録には民生委員が配布(申し込み不要)

◇配布開始日：4月16日(日)

青い鳥郵便はがきを無料で
配布します

身体障害者手帳(1・2級)を持つている人、療育手帳Aを持つている人にインクジェットまたはくぼみ入りはがきを無料で配布します。

◇受付期限：5月31日(日)

2012夏/秋 ご婚礼衣装試着会開催中
WEDDING DRESS FAIR
Love Mary Mariko Shinoda Dress
新しいドレスコレクション「Love Mary」藤田麻里子プロデュースドレスがまもなくデビュー!!
ご相談やさらに詳しい内容は、いつでも承りますお気軽にご連絡ください
shishido
プライダグセンター shishido
tel.0197-22-6440
奥州市水沢区中町27 水沢駅前シシドビル1F 定休日:毎週火曜日
E-mail:bridal.shishido-1@i.softbank.jp
URL: http://shishido.oshushi.com/

身近な生活情報がいっぱい!!読みやすい新聞。
それが 岩手日日 です。
購読料(1カ月) 2,243円(税込)
お支払い方法は 自動振替 をご利用下さい。
お求めやすい料金も魅力!!
うれしい読者サービス!!
生活情報満載フリーペーパー「いわにちび」(月刊) (第2・第4金曜日発行)
●便利な「4ヵ月分一括」(年8回)
地域の記事を中心に、スポーツ、連載企画、国内外のニュースも盛り沢山。
岩手日日販売株式会社 ☎ 0120-22-4317
お試しいサービス実施中
毎月10日～20日の間の1週間、無料で読みに使えます。
※1世帯、1回(1週間)限りさせていただきます。
※契約義務はございませんので、お気軽にご利用下さい。

撮 っ て お き い ち の せ き

Profile No.45 三菱マテリアル(株)岩手工場(東山)



撮影データ:キャノン EOS7D EF24-105F4L F10 55秒 パターン測光 ISO100 PhotoshopCS4

地域経済を支えてきた石灰の町のシンボル

東山町松川のセメント工場三菱マテリアル(株)岩手工場。JR大船渡線や県道一関大東線から望む巨大な建物は圧巻。前身は、1958年に操業した東北開発(株)岩手セメント工場。最盛期には年間170万トンのセメントを生産しました。

セメント工場独特の配管が入り組んだ無機質な建物は重厚。水蒸気が立ち上る昼と、作業灯が光り輝く夜と、対照的な姿を見ることができます。

半世紀以上にわたって地域と共に歩み、地域経済の発展に貢献してきた同工場は東山地域のシンボリック的存在。近年、廃棄物利用などにも取り組み、環境にも配慮した企業活動を展開しています。

【アクセス】JR大船渡線陸中松川駅から徒歩10分